

プレスリリース

2018年3月7日

配布先：文部科学記者会、科学記者会、
報道各社 科学部・社会部 各位

早稲田大学

早稲田大学博士課程教育リーディングプログラムおよび 早稲田大学コンソーシアムデータ関連人材育成プログラムの 合同シンポジウム開催

2018年3月13日、文部科学省博士課程教育リーディングプログラムとして展開されている「リーディング理工学博士プログラム：エネルギー・ネクスト」と「実体情報学博士プログラム：システム・ネクスト」、及び文部科学省データ関連人材育成プログラムの早稲田大学コンソーシアム「高度データ関連人材育成プログラム」による合同シンポジウム「情報科学とエネルギー・ネクスト」を開催します。

シンポジウムでは、「情報科学」と「エネルギー・ネクスト」をキーワードに、産業界からのゲストによる基調講演と特別講演、及び両プログラムの博士学生による講演、さらにパネルディスカッション「AIが実社会に根付くために必要な科学技術とその課題」を行います。報道各社におかれましても、是非、当日取材にお越しいただくとともに積極的に本件PRをしていただければ幸いです。

●シンポジウム概要●

【主題】情報科学とエネルギー・ネクスト

【開催日時】2018年3月13日（火）9:00～13:00

【場所】早稲田大学西早稲田キャンパス 63号館 <https://www.waseda.jp/top/access/nishiwaseda-campus>

【対象・費用】学内外の学部生・大学院生・ポスドク、及び社会人 入場無料

【参加申込方法（一般の方）】ホームページからご登録ください

<http://www.leading-en.sci.waseda.ac.jp/event/ldg180313/>

【本件に関するお問合せ先】

○リーディング理工学博士プログラム <http://www.leading-en.sci.waseda.ac.jp/>

担当：リーディング理工学博士プログラム事務局

電話：03-5286-8263 問合せフォーム：<http://www.leading-en.sci.waseda.ac.jp/contact/>

○実体情報学博士プログラム <http://www.leading-sn.waseda.ac.jp/>

担当：実体情報学博士プログラム事務局

電話：03-5286-2836 メール：leading-sn-info_@_list.waseda.jp

【プログラム】 9:00 - 13:00

9:00	開会挨拶 朝日透 早稲田大学教授 リーディング理工学博士プログラム プログラムコーディネーター/D-DATa プログラム実施責任者
9:10	基調講演 小椋隆 日本アイ・ピーエム株式会社ソフトウェア&システム開発研究所理事 ● 先端情報技術のエネルギーシステムへの展開
9:50	特別講演 岩田和之 株式会社本田技術研究所 R&D センター X 執行役員 ● エネルギー分野におけるイノベーションテクノロジー
10:30	特別講演 佐藤康生 株式会社日立製作所研究開発グループ エネルギーマネジメント研究部長 ● 将来の電力ネットワークにおける技術課題
11:10	博士学生講演 喜久里浩之 早稲田大学理工学術院 リーディング理工学博士プログラム 5年（5年一貫制博士課程） ● 電力エネルギーマネジメントにおける機械学習の応用
11:30	博士学生講演 藤井祥万 早稲田大学理工学術院 実体情報学博士プログラム3年（博士後期課程） ● 熱エネルギーのストレージ・輸送技術
11:55	パネルディスカッション ● AIが実社会に根付くために必要な科学技術とその課題 久世和資 日本アイ・ピーエム株式会社 最高技術責任者 CTO 岩田和之 株式会社本田技術研究所 R&D センター X 執行役員 佐藤康生 株式会社日立製作所研究開発グループ エネルギーマネジメント研究部長 玉城絵美 早稲田大学実体情報学博士プログラム 准教授
12:55	閉会挨拶 菅野重樹 早稲田大学教授 実体情報学博士プログラム プログラムコーディネーター

- **博士課程教育リーディングプログラム**：優秀な学生に俯瞰力と独創力を備えさせ、広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する文部科学省の事業です。本学では「リーディング理工学博士プログラム」と「実体情報学博士プログラム」の2つが採択され事業展開しています。

- **リーディング理工学博士プログラム**：「リーディング理工学博士プログラム」では、「エネルギー・ネクスト」の旗のもと、複数の課題が複雑に絡むエネルギー問題の解決やSDGsの達成など、グローバルイシューの解決に挑戦できる理工系博士人材を育成するため、「専門力」、「俯瞰力」、「進取力」の力を人材養成の基盤としました。早稲田大学の強みであるエネルギー・新材料・デバイス研究への参画を通じ、それら3つの力を協奏的に鍛錬し、将来エネルギー・ネクストを担う人材「エナジー・ネクストリーダー」を産業界を中心に輩出することを目指しています。

早稲田大学・朝日透教授コメント：

人工知能、IoT、ビッグデータ解析などに代表される情報科学におけるサイエンスとテクノロジーの急速な進展に振り回されずに、正しい理解とそのスキルの基本習得は、Society 5.0の実現に貢献できる博士人材にとって、重要なことです。講演では、エネルギーシステムやマネジメントに関わる話題に触れ、パネルディスカッションでは、今後のAIの正しい活用に必要な科学技術とその課題について議論するとともに、最近、メディアで取り上げられ、議論が巻き起こった「博士学生の育成と産業界の活性化」に関する考察についても触れたいと思います。



「専門力」と「俯瞰力」と「進取力」
3つの力を総合的に習得していく早稲田ならではのプログラム

Waseda's Program That Develops High-Quality Expertise, Broad Competency and Powerful Drive All in One Program.





- **実体情報学博士プログラム**：世界的に新基盤技術創出への取り組みが活発となる中、優越する技術を持って大きなイノベーションを創出することが求められています。なかでも強力な計算パワーとWEBを介した柔軟かつ迅速な開発パラダイムによって急速に新産業を拓いた情報・通信技術分野と産業用ロボットや自動車等「実体」を有し日本の強みでもある機械技術分野は、その融合によって産業創出が期待される重要分野であり、イノベーションの創出を担う人材が強く求められています。実体情報学博士プログラムは、機械技術(=実体)と情報・通信技術の融合学として「実体情報学」を構築し、この新しい領域で技術や産業のイノベーションを先導することができる先見力、構想力、突破力を兼ね備えた産学官いずれの立場からも産業創出を支えることのできる人材の育成を目指しています。

早稲田大学・菅野重樹教授コメント：

最近、AIが注目され、どんなシステムを作るにもAIやビッグデータを導入すべきと叫ばれるようになりました。しかし、その前に考えるべきことがあります。それは設計です。機械と情報という2大基盤技術の「ものづくりセンス」を結集し、設計し、そしてインテグレーションすることで、はじめてイノベーションはもたらされます。今回のシンポジウムでは、この新しいシステム作りが、エネルギーおよびデータ人材育成の視点に加わることで、より広く社会を捉え、これからの研究・教育者、企業人が取り組むべき最優先課題を探っていきます。



「システム・ネクスト」基盤の学問

出会いの場

実践・実装の場

議論の場

「工房」

実体情報学

アプリケーションベネフィット

情報・通信系

コンピューティングベネフィット

ネットワークベネフィット

ソフトウェア工学的設計センス

情報・通信アーキテクチャ

- ・グローバルIT産業
- ・通信産業
- ・情報家電産業
- ・半導体産業

経営

倫理

環境・エネルギー

ヒューマンファクター

安全・安心

信頼性・持続性

ボディベネフィット

機械的設計センス

機械アーキテクチャ

- ・RT(ロボット)産業
- ・自動車産業
- ・医療福祉産業
- ・宇宙産業

機械系



- **データ関連人材育成プログラム**：我が国が第4次産業革命を勝ち抜く上で求められるデータ関連技術（AI、IoT、ビッグデータ、セキュリティ等）を高度に駆使する人材（高度データ関連人材）について、発掘・育成・活躍促進を一貫して行う企業や大学等における取組を支援することを目的とした文部科学省の事業です。高度データ関連人材となり得る人材を発掘し、関連する知識・スキルの習得に加えて、キャリア開発までを一貫して行う取組を支援することで、高度データ関連人材の活躍を促進し、データ利活用社会のエコシステム構築への貢献を目指すものです。

参考：http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/data/index.htm

- **高度データ関連人材育成プログラム（D-DATaプログラム）**：本プログラムでは、早稲田大学が産官学金融界の24の参画機関と12の連携機関と協働してコンソーシアムを形成し、博士学生、ポスドク、及び将来の博士学生の卵である志高い学部生も対象として、データ関連スキル×高度な専門性を有する人材「棟梁人材」を育成することです。特に、ビジネスカ×データサイエンスカ×データエンジニアリング力を備えた人材を社会に送り出すことを使命とし、能力に応じて受講できる科目を多様に履修可能とするとともに、国内外の企業や大学での2-3ヶ月のインターンシップや課題解決プロジェクトへの参画なども提供します。文系・理系、博士・ポスドク・女性人材と幅広く早稲田大学らしい総合的なキャリアパス支援も行います。昨年12月に早稲田大学に創設された「データサイエンス総合研究教育センター」や文部科学省「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成（enPiT-Pro）」事業に採択されて早稲田大学で展開されている「スマートエスイー（Smart SE）」プログラムと密接な連携を図っています。

参考：<https://d-data.jp/>

報道関係者の皆様

取材を希望される場合は次のフォームを3月12日（月）正午までに送付ください。

【取材申込フォーム】 FAX 送付先： 早稲田大学広報室広報課（03-3202-9435）

- 貴社名・部署名：
- お名前：
- E-mail アドレス：
- 電話番号：